

平成19年9月17日（月）  
10:00~12:00  
参加者 17名

# 竹細工教室

今日の講師は東雲短期大学の松井先生にお願いをしました。今回はレインスティックという楽器を作るので、最初に材料のひとつである竹の説明をしてもらいます。



レインスティックは南米の方では枯れたサボテンから針を抜き、その針をサボテンに突き刺して作るそうです。サボテンの中は空洞になっているので、今回の竹筒も同じような作り方をします。



次に作り方の説明をしました。今回は竹串を竹筒に刺して作ります。竹串を指す場所にはあらかじめドリルで穴を開けておきました。



まず、竹筒に開いている穴にボンドを入れます。ボンドを入れたら竹串を差し込んでいきます。全部差し込んでハリネズミのような状態にします。



次は、出っ張った竹串をハサミで切り落とします。表面をなめらかにする為に、小刀・ヤスリなどで綺麗にしてもらいます。小刀は危険なので大人の方のみの利用とさせていただきました。



そこまでできたら、レインスティックに絵を書いてもらいました。



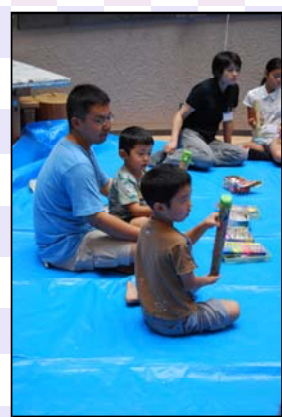
最後に中に入れる石・ペレットを選んでもらいます。気に入った音になるようにして、不織布でフタをしてホットボンドで外れないように貼り付けました。



今回のレインスティックのまとめしていただきました。「竹は時間が経つと収縮します。今回差し込んだ穴には竹串で本体とは違う竹が入っています。お互いに収縮する度合いが違うので、時間が経つと割れてしまったり、抜けてしまったりすると思います。その時は、今回の作り方を忘れないようにして直して使ってください」ということでした。



簡単なクラフトですが、前準備が多く、ちょうど良い竹の数も限られているのでたくさんは作れませんでした。



今回のイベントは、展示コーナーにレインスティックを置いておくと、興味を持つ人が多かったので行いました。参加された方は何本か作られたそうでしたが、簡単にできるので自宅でもチャレンジして欲しいです。